



2009年8月8～9日 全日本フォーミュラニッポン 第6戦 参加台数13台
サーキット ツインリンクもてぎ

フォーミュラニッポンの第6戦がツインリンクもてぎで行われました。今回はマシンセッティングが変わっていたので、公式練習でセットアップやマシンのフィーリングを掴むことに集中し、予選に向けて準備しました。

予選

天候・・・曇

今回も予選はノックアウト方式が採用され1セッションごとに下位のマシンが脱落していくルールでした。

Q1・・・/6位

20分間で行われました。開始と同時にコースインしマシンのフィーリングを確かめました。1度ピットに戻りアタックのタイミングを待ちました。そして、NEWタイヤに交換しアタックに入りました。ドライビングの方法も試しながらのアタックでしたが8番手タイムをだしQ1をクリアしました。

Q2・・・/8位

10分間のインターバルを挟み残った11台でQ2が行われました。マシンセットは少しだけ調整しました。タイムはQ1よりも上がったのですが、8番手タイムでした。それでも、Q3に進み再度セッティングを変更して最後のアタックに入りました。

Q3・・・/4位

10分間のインターバルを挟み最後の予選に臨みました。最初にフロントタイヤをスクラブするためにコースインし、そのままピットに戻りタイミングを待ちました。残り4分でコースインしタイヤを暖めアタックに入りました。しかし、1周目にまとめることができずもう1周アタックにいきました。そして、ほんのわずかベストタイムを更新することができ、4番手グリッドを獲得することができました。

決勝・・・/10位

天候・・・曇

迎えた日曜日の決勝日の朝のフリー走行でも、昨日に続きセッティングの方向性を探るため、さまざまなセッティングを試しました。ガソリンも積んだ状態で走行しました。グリッドに行く前のサイティングラップでもマシンセットを確認し決勝に臨みました。

シグナルが変わったときの反応は良かったのですが、その後でエンジン回転を落とすすぎてしまい速度を乗せることができず順位を落としてしまいました。さらに、5コーナーの立ち上がりで失速したマシンのアウト側に並び抜きにかかったのですが、130R出口でラインをふさがれてしまいコースアウトしてしまいました。すぐにコースに復帰しましたが、ポジションを7番手まで落としてしまいました。そこから、前に行くマシンとの差を詰めていきかけたのですが、ガソリンを積んだ状態でのマシンコントロールが難しくなかなかタイムアップすることができませんでした。自分でできる限り試したのですが、ピットに入るまでペースを上げられませんでした。ピット作業を終えたときには順位が最後尾になってしまい、そこから追い上げようとしたのですが、途中からシフト操作ができなくなり48周目にピットに戻りレースを終えることになってしまいました。

今回はマシンコントロールに苦労しました。2日間を通して思うようなドライビングができませんでした。予選ではなんとかタイムを出すことができましたが、決勝でもっとペースが上げられるように勉強し、次回のレースに臨みたいと思います。

次回のレース・・・8月29, 30日 オートポリス

塚越 広大